

「断夫山古墳築造の背景をさぐる」

—百舌鳥・古市古墳群との関係をふまえて—

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されることになり、注目されています。

我々の地元、愛知県にも、築造された古墳時代後期においては、大王墓に次ぐ規模を誇る前方後円墳、断夫山古墳があります。

今回は名古屋市文化財保護室の学芸員 深谷 淳氏を講師にお招きし、断夫山古墳の考古学検討をもとに、百舌鳥・古市古墳群との関係、文献史学の成果も踏まえ、お話しいただきます。そして、尾張の古墳時代における最大の謎である「なぜ、断夫山古墳が築かれたのか」にせまっていきます。

記

1. 日時 令和元年 9月25日(水)

午後1時から午後3時

2. 場所 守山生涯学習センター第3集会室

名古屋市守山区守山3-2-6(ゆとりーとライン 守山駅下車すぐ)

3. 講師 名古屋市教育委員会 文化財保護室

学芸員 深谷 淳 氏

※どなたでもご参加いただけます。古墳ファン 必聴!

※定員に達した場合入場をお断りする場合がございます

※資料コピー代として100円いただきます。ご了承ください。

【開催】歴史の里マイスターの会

問合せ先 村瀬 090-8549-2284